

# その37 香里園

(平成13年5月1日号—第212号)

今回紹介する香里園は、京阪電車香里園駅の周辺で、枚方市と寝屋川市にまたがって広がる地域です。枚方市には香里園町、香里園桜木町、香里園東之町、香里園山之手町と香里園の名がつく町名が四つあります。寝屋川市にも「こおり」と名のつく町名がありますが、枚方市と同様に「香里」の漢字を当てる香里本通町などのほか、郡元町のように「郡」の漢字を当てる町名もあります。なお、枚方市では「こうり」、寝屋川市では「こおり」と振り仮名を振っています。

もともとこのあたりは、古代に茨田[まった]郡の役所があった郡衙[くんが]跡と推定され、郡の地名はこれに由来するといえます。江戸時代は郡村で、明治22年(1889)に7カ村が合併して友呂岐[ともろぎ]村となり、郡はその大字となりました。

明治40年(1907)京阪電車の開通に先立って、阪神電車沿線の遊園地「香櫨園」[こうろえん]をヒントに、地元で香里遊園地計画が持ち上がりました。それを京阪電鉄が引き継いで、明治43年(1910)に香里遊園として開園し、駅名も「香里」となりました。「香里園」と改名されたのは昭和13年(1938)です。香里遊園は、明治43年の秋に、「菊人形」を開催し、人気を博しました。しかし、大正元年(1912)に現在の枚方パークへ移転して、以来枚方菊人形として広く知られるようになりました。現在も毎年秋に開催される菊人形は、枚方市の名物の一つとして根強い人気を誇っています<sup>\*1</sup>。

一方、香里遊園跡は、住宅地として開発されることになりましたが、大阪からみて鬼門[きもん]の方角に当たるため、沿線開発が遅れていました。しかし、昭和に入って住宅開発が本格化し、「西の芦屋、東の香里園」といわれるように、大きな屋敷が建ち並ぶ閑静な住宅街になっています。



64 創造の森(香里園山之手町)

<sup>\*1</sup> 京阪電鉄主催のひらかた大菊人形は平成17年をもって終了した。